

1. 科目名（単位 数）	障害の理解Ⅰ（2単位）	3. 科目番号	SSMP2314 SNMP2114 SCMP2314 SBMP2314
2. 授業担当教員	櫻井 恵美		
4. 授業形態	講義、グループワーク	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	本科目は介護福祉士養成と教員養成（福祉科）の必修科目であることから、本科目を履修する場合は、「身体構造と機能Ⅰ」を履修していること、また、「発達と老化の理解Ⅱ」、「認知症の理解Ⅰ」を合わせて履修すること。		
7. 講義概要	障害の基礎的理解として、障害の概念や障害者福祉の基本理念を理解する。また、障害のある人の日常生活に及ぼす影響を理解した上で、障害のある人やその家族への生活支援を行うための根拠となる知識を習得することを目的とする。 事例や視聴覚教材等を通して、具体的に障害を理解できるような授業を展開する。		
8. 学習目標	障害の理解Ⅰが終了した時点で、下記について目標達成することが期待される。 1. 障害の概念や障害の基本的理念が理解でき、その人らしい生活を考えることができる。 2. 生活モデル、ICFの概念が理解でき、環境改善のあり方を考えることができる。 3. 身体的、精神的障害について理解でき、ノーマライゼーションの考え方を明らかにすることができる。 4. 障害が及ぼす日常生活への影響やバリアが理解でき、その対応を考えることができる。 5. 障害のある人に対する介護の基本的視点が理解でき、生活ニーズを把握することができる。 6. 障害のある人だけでなく、その家族とどう関わるか理解でき、専門職としての役割を考えることができる。 7. 障害の種類や特性に応じた保健・医療・福祉との連携と地域におけるサポート体制を理解した上で、地域で普通に暮らすことのできる社会づくりを考えていくことができる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	①授業中に提示し、ミニレポートを作成して提出する。（第2, 11回） ②第9回 身近にあるバリアを調査し、バリアとなっている現状と対策について演習シートにまとめる。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 新・介護福祉士養成講座 14『障害の理解』第2版 中央法規出版 2022 【参考書】 授業内で適宜紹介する。 【教材】 DVDなどの視聴覚教材を必要に応じて使用する。		
11. 成績評価の規準 と評価の方法	○成績評価の規準 1. 障害の概念や基本的理念が理解できたか。 2. 障害による日常生活への影響やバリアを理解し対応等を考えることができたか。 3. 障害のある人に対する介護の基本的視点を理解し、本人や家族も含めた対応を理解できたか ○評価の方法 [レポート、授業への積極的参加度、テスト結果を総合的に評価する] 1. 授業態度20％ 2. 小テスト:30％ 3. 期末試験 50％		
12. 受講生への メッセージ	・講義・演習とも積極的に取り組み、提出物は必ず期限内に提出してください。 ・机上に携帯電話など教材以外のものを置くこと、私語や居眠り等、他学生の学習の妨げになるようなことは慎むこと。 ・テレビ番組などを通じて、障害者について知る機会を積極的につくってください。 ・不明な点は質問し、解決できるようにしてください。 ・授業では、各障害の概要について各自でまとめ発表すること、グループディスカッションを取り入れます。各自事前学習を丁寧に行い、ディスカッションの際には他者の意見をよく聴き、自分の意見をしっかりと述べてください。 ・やむを得ず遅刻・早退・欠席をする場合は、必ずその理由を申し出るとともに、授業内で配布されたプリントを取りに来て下さい。		
13. オフィスアワー	第1回の授業で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・ガイダンス ・テーマ「障害」とは① 障害の定義と、わが国における障害者の分類のもと、身体障害者、知的障害者、精神障害者の数について、数値的データを基に実態について理解していく。	事前学習	シラバスを確認し、本授業の概要を把握しておく。テキスト PP.2～12 を読み、障害の概念について確認しておく。
		事後学習	わが国の障害者の実態を理解し、障害者支援の必要性を整理する。
第2回	テーマ「障害」とは② 障害はどこにある？	事前学習	ICIDH と ICF、ノーマライゼーションの考え方を復習しておく。
		事後学習	障害の捉え方について整理する。
第3回	テーマ「障害のある人の心理」 障害受容の過程について理解する。	事前学習	テキスト等で、障害の受容過程について確認しておく。
		事後学習	障害のある人の心理について整理する。
第4回	テーマ「身体的障害」について①	事前学習	テキスト等で、身体障害の種類について確認

	身体障害の種類とその特性について整理する。		ておく。
		事後学習	身体的障害が及ぼす日常生活への影響を整理する。
第5回	テーマ「身体的障害」について② 感覚機能障害の種類とその特性を整理する。	事前学習	テキスト等で感覚機能障害の種類について確認しておく。
		事後学習	感覚機能障害が及ぼす日常生活への影響を整理する。
第6回	テーマ「身体的障害」について③ 内部障害の種類とその特性について整理する。 ※グループワーク *小テスト①	事前学習	第1回～5回までの授業を復習し、小テストに備える。テキスト等で内部障害の種類について確認する。
		事後学習	内部障害と障害が及ぼす日常生活への影響を整理する。
第7回	テーマ「身体的障害」④について 内部障害と障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。 ※グループワークの発表	事前学習	グループワークの整理と発表の準備を行う。
		事後学習	内部障害のある人に対する支援の在り方についてノートにまとめる。
第8回	テーマ「身体的障害について③」 高次脳機能障害とその特性、障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。	事前学習	テキスト等で高次脳機能障害について確認する。
		事後学習	高次脳機能障害のある人に対する支援の在り方について整理する。
第9回	テーマ「バリアはどこ？」 障害者を取り巻く障壁について調査を通し、環境(人的、物的、地域、社会)が及ぼす影響を考えていく。	事前学習	バリアフリー、ユニバーサルデザインについて確認しておく。
		事後学習	て演習シートに記録し、発表用パワーポイントを作成する。第15回の授業でグループごとに発表。
第10回	テーマ「バリアフリー・合理的配慮」① 前回の調査報告書をまとめる。障害者が生活していくうえで、適切な支援ができるように、具体的な改善策を考える。 *小テスト②	事前学習	第5回～8回までの授業を復習し、小テストに備える。
		事後学習	バリアフリー法や合理的配慮について調べ、調査課題の解決法を考察する。
第11回	テーマ「バリアフリー・合理的配慮」② 各グループの発表 障がいのある方が生活しやすい環境をつくるための対応について考察する。	事前学習	グループ発表の準備
		事後学習	環境整備における社会福祉士・介護福祉士の役割について整理する。
第12回	テーマ「知的障害」について 知的障害の種類とその特性について整理する。	事前学習	知的障害についてテキスト等を確認しておく。
		事後学習	知的障害のある人との関わり方について整理する。
第13回	テーマ「精神的障害について」 精神障害の種類とその特性について整理する。と障害が及ぼす日常生活への影響を理解する。	事前学習	精神障害の種類、原因についてテキスト等で確認する。
		事後学習	精神障害のある方との関りの基本を整理する。
第14回	テーマ「難病」について 難病の種類とその特性について整理する。 *小テスト③	事前学習	第10回～13回までの授業を復習し、小テストに備える。テキスト等で難病について確認しておく。
		事後学習	難病のある方への支援における福祉専門職の役割について整理する。
第15回	テーマ「障害のある人の家族」 障害者を支援する最も身近な家族について焦点をあて、障害者を抱える家族の心理的な視点や社会における立場等について理解する。	事前学習	障害のある人を介護する家族の苦悩について、これまでの授業を振り返りながら文献等を調べ考察しておく。
		事後学習	自己の障害に対する考え方、障害のある人への介護観、福祉専門職としての役割を整理し、実践できるようにする。
期末試験 筆記試験			